

農道2000メートルを清掃



作業が済んできれいになった西側外周路

昨年度から冬の時期に農道の除草清掃作業を実施することになりました。八方原地区の関連する農道は3200メートルほどあります。これだけの距離を一度に作業することは困難なので、何度かに分けて作業を行います。

1400メートルもの距離があり、参加人数によっては一日では作業が終わらない可能性もありましたが、予定以上の参加者と、機械力でほぼ半日の作業で終わることができました。

二日目は圃場の中央を南北に貫く南北線です。これも600メートルの距離がありますが、舗装面とコンクリート壁との間に繁茂する雑草の処理は、時間がかかります。ここもなんとか予定の時間に完了できました。参加の皆さんご苦労様でした。

して、二日続けての作業を行いました。初日は最も長い西側外周農道です。ここは

排水路堤体改修に着手



草刈り機8台がフル稼働（1月25日）

施設の長寿命化の事業では、ここ数年排水路の堤体改修を進めてきました。排水路は長年の泥上げ、雑草の処理で本来の形からかけ離れた団子状の断面になっています。

今年度は5号配水路（森下から西方向）の改修を実施します。実施については今年度から、自主作業が必須事項となりました。

改修工事を行うには、まず除草作業が一番になります。そこで八方原の環境を守る会の役員で、除草を行うことになりました。

180メートルの水路の両側ですの作業は360メートル。足場の不安定なところも少なくありませんが、無事に作業を終えました。



△終わったところからどんどん人が集まるので外周路の最後の部分は、ほぼ全員で作業。（1月12日）

▽交差点部分や、排水路の横断部分では泥のたい積が多く作業には時間がかかる（1月13日）





最終区を区間8位の記録で走り、10人を抜いた大本選手(161番)

1区の失策を全員がカバー

第15回山口市駅伝競走大会が1月19日、きらら博記念公園の特設コースで開催されました。八方原の愛好家を中心にしたチーム「チームハッポウ」も元気に参加して参りました。

年明けの7日に開会式と監督会議があり、この時に登録メンバーの変更を申し出ないと以降の追加はできないこととなります。

コースは公園の南東側の一角をほぼ3周する14.7キロメートル、5区間で争います。ハッポウの布陣は1区 国本康喜君、2区 原田昌通君、3区 國田純一君、4区 原田広文君、5区に大本宗徳君で臨みました。目標タイムは1時間3分、過去の実績からするとそ



自治会役員の新年あいさつ

恒例の自治会新年会が1月6日、自治会公民館で開催されました。新年会には事業所の新年会に

新年をともに喜ぶ



和やかな雰囲気でも新春を祝った

方々から、過分なお祝いを賜りました。誠にありがとうございます。新年頭に健康やかに顔を合わせることができたことを喜び合いました。自治会長 菊本弘志

チームハッポウ監督 原田茂樹

う難しいタイムではないと考えていました。実はあまり勝負にこだわらなくてもいいので一般2部に入れてもらうつもりでしたが、そのタイムでは1部に振り分けられました。

7日に監督会議から当日までは12日



原田広文選手から大本宗徳選手、親子リレー

人づくり・地域づくりフォーラム

地域を元気にする試みや、問題解決の先進事例などを全国から集めて下記の通りに発表会が行われます。下関市の自治会連合会は毎年聴講に来られます。みなさんも参加してみられませんか。

日時 令和2年2月22日・23日
会場 山口県セミナーパーク
問い合わせ先 ☎ 987-1730

人づくり財団生涯学習センター

の日にちがあります。その間しっかりと練習をして準備することもできますが、反対の事態も発生することがあります。

大会の3日前、国本選手が足を負傷して病院で治療を受けていることが分かりました。当日まで様子を見ましたが、参加は無理。補員である監督の原田茂樹が1区を走ることになりました。

一区はどのチームも主戦の選手です。なんとハッポウは参加チームの中では最高齢という状況になりました。スタートするや否や、どんどん抜かれてあつという間に最後尾。本人としては、「今からじゃ、みんなすぐにへばるじやろう」ところが、へばるのはハッポウの選手だけで他のチームはほとんど逃げていきます。屈辱的なスタート、正真正銘のどん尻で2区にタスキを渡しました。

それからが「チームハッポウ」の底力でした。各選手が着々と差を詰め、アンカーの大本選手にタスキが渡るときには56位(61チーム中)にまでなっていました。

大本君は毎回、猛烈な走りを見せてくれますが、今回はまさに鬼のように走りました。先行する選手を10人抜き、46位でゴールイン。激走に感謝。